

◎ 企画財政部長（桶屋栄造君）

まちづくり協議会の設置についての御質問にお答えをいたします。

議員御指摘のとおり、これからの地域のまちづくりは、市民や行政などがそれぞれの役割を果たし、お互いに協力・連携し合いながら、自分たちのまちは自分たちでつくるという協働のまちづくりが求められております。近年は、行政と市民、NPOや企業などが対等のパートナーとして協力しながらまちづくりに取り組むという考え方が定着してまいりました。私は、これこそが協働のありようと考えているところでございます。

議員御提案のような行政が主導して新たにまちづくり協議会を設置することにつきましては、現在も各地域ではそれぞれの地域ごとの状況に応じて、地区振興協議会や地区町会長会があります。また、それぞれの活動に特化したまちづくりや地域づくりを考える組織としては、公民館や地区社協、商店街や白山ふもと会などのような団体が活発な活動を展開しております。さらに、白峰地域では、まちづくり協議会が自主的に設立をされ、地域おこしのための活動をしておりますように、行政が主導して設置すべきものではないと、このように思っているところでございます。あくまでも地域住民が自発的に組織すべきものと考えている次第であります。

したがいまして、権限と財源を地域に移譲することについては、現時点では難しいと考えておりますが、これらの組織に対しましては、行政として側面からの支援という形の中で、鋭意応援してまいりたいと考えているところであります。

以上でございます。